

# 沖縄緩和ケア研究会 第4回学術集会

2024年 11月4日(月・祝)

10:00-16:00

琉球大学医学部2F大講義室

## 地域・世代を超えてつながる 「ちむぐる」の緩和ケア

シンポジウム:「沖縄の緩和ケアの核となる  
人材育成の現状と今後の課題」

参加費:1000円 (当日支払い)

申込先:下記QRコードへアクセスの上、  
10月31日(木)迄にお申込みください!

問い合わせ先:

okinawakanwa@gmail.com



大会長:木村 安貴

名桜大学 人間健康学部看護学科

沖縄緩和ケア研究会 世話人

※緩和薬物療法認定薬剤師:単位取得(予定)

沖縄緩和ケア研究会 第4回学術集会 プログラム

10:00-10:05	<p><b>【開会のあいさつ】</b> 学術集会長 木村安貴 (名桜大学)</p>
10:10-11:15	<p><b>【一般演題Ⅰ】</b> 座長 ( 上原 )、( 照屋 ) 演題 9分 (発表7分+質疑応答2分) × 7名 (約65分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>脳腫瘍の告知後の気分状態とQOLにおける認知機能の関連 ○上 薫 (琉球大学病院)</li> <li>がん遺族の医療者から遺族ケアに対する必要性の認識とその関連要因 ○福島桐子 (名桜大学大学院看護学研究科博士前期課程)</li> <li>全遺族へビリーブメントカード郵送の取り組み ○魚住智絵 (アドベンチストメディカルセンター 看護部)</li> <li>出前緩和ケア講座を实践して ○世嘉良 和希 (独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院)</li> <li>地域住民に向けての「人生会議」・ACP アドバンス・ケア・プランニング 普及啓発活動 ～アンケート結果から見えてきたこと～ ○大城 早苗 (沖縄協同病院看護部)</li> <li>終末期にある在宅療養者とその家族への食支援に関する質的記述的研究 ～管理栄養士と食支援を受けた療養者遺族へのインタビュー調査から～ ○新垣来輝 (琉球大学医学部保健学科)</li> <li>肝臓に転移した乳がん合併妊娠患者の出産と育児をめぐる意思決定と医療者の葛藤 ○棚原陽子 (琉球大学病院 看護部)</li> </ol>
11:20-12:20	<p><b>【シンポジウムⅠ】</b> 「緩和ケアにおける地域連携ならびに多職種連携の現状と課題」 座長 ( 中島 )、( 長 ) 発表 (10分) × 3名 + パネルディスカッション (30分) (60分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>急性期病院の立場から ○前 知子 (医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 疼痛治療科 疼痛治療科部長)</li> <li>緩和ケア病棟の立場から ○金城 恵 (沖縄赤十字病院 緩和ケア病棟 看護師長)</li> <li>在宅の立場から ○奥間政礎 (はいさいクリニック 看護師)</li> </ol>
12:20-13:20	休憩 (昼食)
12:50-13:10	<p><b>【令和6年度総会】</b> 代表世話人：中島信久 (琉球大学病院 地域・国際医療部 診療教授)</p>
13:20-14:25	<p><b>【一般演題Ⅱ】</b> 座長 ( 服部 )、( 島袋 or 久志 ) 演題 9分 (発表7分+質疑応答2分) × 7名 (約65分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>がん疼痛に対する脊髄くも膜下持続鎮痛 (Intrathecal Analgesia: ITA) の現況 ○河野 優 (医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 疼痛治療科)</li> <li>悪性腸腰筋症候群に対してジアゼパムの投与とオピオイドのタイトレーションにて 良好な疼痛コントロールが得られた1例 ○中川 裕 (豊見城中央病院 緩和ケア内科)</li> </ol>

	<p>3. せん妄に対するブロナンセリンテープの使用経験 ○木村奈美（アドベンチストメディカルセンター 薬剤課）</p> <p>4. 当院および北部地域の在宅緩和ケアの現状 ○野里栄治（北部地区医師会病院）</p> <p>5. 沖縄病院における緩和ケア外来の調整から入院までの実践報告と課題 ○平安名常勝（独立行法人 国立病院機構 沖縄病院 緩和ケア病棟）</p> <p>6. 沖縄本島で化学療法を受けている離島がん患者の重症化予防支援の課題に関する質的研究—沖縄本島と離島の看護師を対象として— ○宮良香帆（名桜大学大学院看護学研究科博士前期課程）</p> <p>7. 心不全治療抵抗性の呼吸困難症状緩和マニュアル作成と導入について ～2症例をもとに検討～ ○山城美香（沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院）</p>
14:30-16:00	<p><b>【シンポジウムⅡ】</b> 「沖縄の緩和ケアの核となる人材育成の現状と今後の課題」 座長（木村）、（笹良） 発表（15分）×4名＋パネルディスカッション（30分）（90分）</p> <p>1. 看護師の立場から ○砂川 華（琉球大学病院 看護部 がん看護専門看護師）</p> <p>2. 作業療法士の立場から ○金城正也（豊見城中央病院 作業療法士）</p> <p>3. 薬剤師の立場から ○佐久川卓（那覇市立病院 薬剤科 緩和薬物療法認定薬剤師）</p> <p>4. 医師の立場から ○長野 宏昭（いきがい在宅クリニック）（依頼中）</p>
16:00-16:05	<p><b>【閉会のあいさつ】</b> 世話人代表：中島信久（琉球大学病院 地域・国際医療部 診療教授）</p>

当日の連絡先：  
島袋朝太郎（中頭病院薬剤部：090-7392-8008）